

第 14 回 日本統合医療学会 IMJ2010 徳島大会

酸菌 *Lactobacillus plantarum* ALA 株 (BF-LP284) の 抗アレルギー作用

株式会社 エイ・エル・エイ 中央研究所 伊藤 幸恵

新 良 - 1) 大縄 悟志 1) 水谷 武夫 1) 金内 長司 1) 三浦 竜介 2)

1) (株) エイ・エル・エイ 中央研究所 2) (株) シー・エム・シー

【目的】

乳酸菌混合発酵産物からなるサプリメント「生源」に使用する *Lactobacillus plantarum* ALA 株 (BF-LP284) がアレルギー発症マウスのサイトカインバランスに与える影響を検討した。

【方法】

7 週令 BALB/c マウス (雄) に卵白アルブミン (OVA) 感作にてアレルギーを惹起すると共に BF-LP284 を 3 週間摂取 (10 mg/日) させ、血清総 IgE、OVA 特異的 IgE、ならびに脾臓細胞培養上清中のサイトカインを測定した。

【結果】

総 IgE は BF-LP284 群で対照群比 50% 抑制 ($P < 0.01$)、OVA 特異的 IgE も抑制傾向を示した。サイトカインは Th1 型の IFN- γ 、IL-2 の産生が増加 (共に $P < 0.01$) した。

【結論】

OVA 感作により Th2 側に傾いた Th1/Th2 バランスを BF-LP284 が Th1 側へ調整することで、B 細胞からの IgE 抗体産生を抑制すると考えられた。